

ジョージア映画祭2022 コーカサスからの風

ジョージア(グルジア)映画は、この国の歴史ある民族文化と同じく、独自の存在感を世界に示してきた。それはポリフォニー(多声音楽)のように多彩な豊かさを内包し、古代から伝わるワインのように芳醇である。そしてスブラ(ジョージア式宴会)のように民族の魂を謳い、高揚させ、度重なる苦難のなかで人々の心を支えてきた。

ジョージア映画は奇妙な現象だ。特別であり、哲学的に軽妙で、洗練されていて、同時に子供のように純粋で無垢である。ここにはわたしを泣かせるすべてがあり、わたしを泣かせることが容易ではないと言っておきたい。(フェデリコ・フェリーニ監督)

ジョージア(グルジア) Georgia=Sakartvelo

ジョージアはコーカサス山脈の南に位置し、ロシア、アゼルバイジャン、アルメニア、トルコと国境を接している。面積は北海道の約80%、人口は約370万人。ジョージア人を中心に多様な民族が暮らし、主な宗教はジョージア正教である。ジョージア語では国名をサカルトヴェロという。3000年の歴史があるといわれ、東西交易の要所であるために周辺の国々から度重なる侵略を受けてきたが、今日まで独自の言語、文化を守り通してきた。ロシア帝国の支配から1918年に独立。1921年から70年間、ソ連邦に組み込まれていたが、1991年に独立を回復する。しかし内戦に加え、アブハジア、南オセチアにおける分離独立の紛争が激化し国内は混乱した。このために映画も傷つき、1000以上の作品が上映不能になった。現在、状況は改善され、ワイン発祥の地といわれるこの国には世界から多くの観光客が訪れ、映画などの文化芸術も復活を遂げ、世界の人々に新鮮な驚きを与えている。

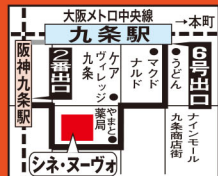


■上映スケジュール(入替制) **〈特別上映〉『金の糸』2019年/ジョージア=フランス ●ラナ・ゴゴベリゼ監督最新作** ※詳しくは専用チラシをご覧ください。

5/28 [土]	13:00 ハバルダ★	14:35 白いキャラバン	16:30 エリソ+アラヴェルディの祭	—
29 [日]	12:40 青い山	15:00 私のお祖母さん+スヴァネティの塩★	17:15 白いキャラバン	—
30 [月]	12:40 白いキャラバン	14:35 エリソ+アラヴェルディの祭	16:55 青い山	—
31 [火]	12:40 エリソ+アラヴェルディの祭	15:00 青い山	16:55 白いキャラバン	—
6/1 [水]	12:40 ハバルダ	14:00 エリソ+アラヴェルディの祭	16:25 私のお祖母さん+スヴァネティの塩	—
2 [木]	12:40 ピロスmani	14:30 ピロスmaniドキュメンタリー+アラベク	16:00 青い山	—
3 [金]	12:40 失楽園	14:25 ピロスmani	16:15 ピロスmaniドキュメンタリー+アラベク	—
4 [土]	12:00 失楽園+トーク	15:00 私のお祖母さん+スヴァネティの塩★	16:35 金の糸	—
5 [日]	12:00 金の糸	14:20 ハバルダ★	15:50 ピロスmani	17:40 ピロスmaniドキュメンタリー+アラベク
6 [月]	12:00 マグダナのロバ	13:30 ピロスmani	15:15 失楽園	17:00 金の糸
7 [火]	12:00 ナイロンのクリスマスツリー	13:45 金の糸	15:35 マグダナのロバ	17:05 失楽園
8 [水]	12:00 金の糸	13:50 ナイロンのクリスマスツリー	15:35 結婚式+傘+音楽家たち+井戸	17:30 マグダナのロバ
9 [木]	12:00 結婚式+傘+音楽家たち+井戸	13:55 金の糸	15:45 ナイロンのクリスマスツリー	17:30 大いなる緑の谷
10 [金]	12:00 大いなる緑の谷	13:45 マグダナのロバ	15:20 金の糸	17:15 結婚式+傘+音楽家たち+井戸
11 [土]	11:00 大いなる緑の谷	12:45 ナイロンのクリスマスツリー	14:30 結婚式+傘+音楽家たち+井戸	オンライントークショー開催 6/4(土)12:00『失楽園』上映後 はらだたけひでさん (ジョージア映画祭主宰・画家)
12 [日]	10:00 祈り	11:35 希望の樹	13:40 懺悔	
13 [月]	10:00 祈り	11:35 希望の樹	13:40 懺悔	★生演奏付き上映開催 ★5/28(土)13:00『ハバルダ』 ★5/29(日)15:00『私のお祖母さん』+『スヴァネティの塩』 ★6/4(土)15:00『私のお祖母さん』+『スヴァネティの塩』 ★6/5(日)14:20『ハバルダ』 ピアノ:鳥飼りょうさん(楽士) 無声映画の楽士。ピアノ、打楽器を演奏。全ジャンルの映画に即興で伴奏をつけ、これまでに演奏した作品は500以上。国内外の映画祭や劇場等での伴奏上映に多数出演。現在、最も上映会で演奏する楽士のうちの一人。
14 [火]	10:00 祈り	11:35 希望の樹	13:40 懺悔	
15 [水]	16:15 祈り	17:50 希望の樹	19:55 懺悔	
16 [木]	16:15 少女デドゥナ	17:40 ケトビコテ	19:30 喜びの家+「ケトビコテ」を求めて	
17 [金]	16:15 ケトビコテ	18:05 喜びの家+「ケトビコテ」を求めて	20:30 少女デドゥナ	
18 [土]	10:00 少女デドゥナ	—	—	
19 [日]	10:30 ケトビコテ	—	—	
20 [月]	11:45 喜びの家+「ケトビコテ」を求めて	14:10 プバ+幸福	—	
21 [火]	11:55 ウジュムリ	13:15 インタビューアー	—	
22 [水]	10:00 プバ+幸福	11:30 インタビューアー	—	
23 [木]	10:00 ウジュムリ	12:20 プバ+幸福	—	
24 [金]	10:00 インタビューアー	11:55 ウジュムリ	—	

■当日料金:一般1,800円、シニア1,200円、学生・会員1,100円
3回券3,900円 ※劇場窓口でのみ販売

オンライン予約はこちら



シネ・ヌーヴォ
 大阪メトロ中央線「九条駅」6号出口徒歩3分
 阪神なんば線「九条駅」2号出口徒歩3分
TEL.06-6582-1416
<http://cinenuveau.com/>

(全席指定席)回数券なども受付にて座席指定券とお引き換えください。1週間前よりオンライン&窓口でご購入いただけます(ただし、前売券は窓口のみ)。●館内入場時は検温と手指アルコール消毒をお願いします。上映中マスクの着用もお願いします。場内での食事は禁止とさせていただきます。



ქართული კინოს ფესტივალი 2022

ジョージア映画祭 2022

コーカサスからの風

2022.5.28 [土] ~ 6.24 [金]

シネ・ヌーヴォ

映画の王国ジョージア(グルジア)、失われていたソヴィエト連邦時代(1921~1991)の名作が修復され、あるいはロシアから戻り、今、蘇ろうとしている。政治体制の抑圧にもかかわらず、人間味にあふれ、独創的であり、映画への愛がこめられた黄金期のジョージア映画。その魅惑にみちた歴史的な作品の数々を一堂に集めて一挙上映!



日本・ジョージア国交樹立30周年記念 [ジョージア映画祭2022ホームページ http://georgiafilmfes.jp](http://georgiafilmfes.jp)

主催:ジョージア映画祭2022実行委員会 企画・制作:はらだたけひで/企画協力:日本語字幕:児島康宏/上映素材制作:大谷和之 共催:一般社団法人コミュニティシネマセンター 協力:ジョージア国立フィルムセンター、ジョージア国立アーカイブ、ジョージア・フィルム、ジョージア映画発展基金、ジョージア映画アカデミー 後援:在日ジョージア大使館

A エリソ ელისო ★

ニコロス・シェンゲラヤ監督/1928/白黒/80分/サイレント・サウンド版



ジョージア無声映画の傑作。1864年のロシア帝政下、コーカサスの険しい山々を舞台に、抑圧された民族の心情が劇的に描かれる。リズムカルな展開、緻密なモンタージュなど当時の映画美学の全てが注ぎこまれた。国民的文豪アレクサンドレ・カズベギの原作。

アラヴェルディの祭 ალავერდობა ★

ギオルギ・シェンゲラヤ監督/1962/白黒/42分



ギオルギ・S監督の第一作。タルコフスキー監督が「この作品によって映画の新しい時代が始まった」と評したという。カヘティ地方の大聖堂で行われる由緒ある祭で一人の男が起こした行動をとおして、民族的伝統の意味を問う鮮烈な映像詩。(原作・未知谷刊)

白いキャラバン თეთრი ქარავანი ★

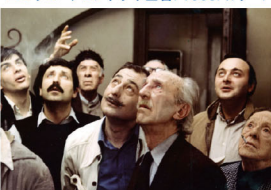
エルダール・シェンゲラヤ+タマズ・メリアヴァ共同監督/1963/白黒/93分



エルダール・S監督のジョージア帰郷後の第1作。コーカサスの山岳地帯からカスピ海沿岸へ羊の群れを追う牧夫たちの厳しい生活。孤独、歎び、憧れ、切なさ。人々の高い魂を、大自然を背景に描く。2019年カンヌ国際映画祭カンヌクラシック部門で上映。

青い山 —本当らしくない本当の話 ცისფერი მთები ანუ ლაყვერიბელი ამბავი ★

エルダール・シェンゲラヤ監督/1983/カラー/95分



カンヌ国際映画祭で歴史的名作ベスト20に選ばれた。若い作家が自作の小説を出版するために出版所を訪れる。そこで見た職員たちの常軌を逸した姿とおし、役人社会の実態をエルダール得意のユーモアと風刺で描く。後のソビエト連邦崩壊を予見した作品。

B ピロスマニ თიროსმანი ★

ギオルギ・シェンゲラヤ監督/1969/カラー/86分



ピロスマニは生涯の大半を日々の糧とひきかえに絵を描き続けた。ギオルギ・S監督は、画家の人生と魂を清冽に描き、その姿にジョージアの人と文化、歴史、風土への思いを重ねた。アイコンに例えられるピロスマニの絵に映像は倣い、映画は崇高な輝きを帯びる。

ピロスマニ・ドキュメンタリー თიროსმანი

ギオルギ・シェンゲラヤ監督・ナレーション/1990年/カラー/49分/R



国民的画家ニコ・ピロスマニ。(ニコ・ピロスマナシュヴィリ/1862?~1918)の人生と作品を、証言と当時の貴重な写真を交えて紹介する。ピロスマニ入門として最適なドキュメンタリー。今回発掘された幻の作。「ピロスマニのアラベスク」と併映。

ピロスマニのアラベスク არაბესკები თიროსმანის თემაზე

セルゲイ・パラジャーノフ監督/1985/カラー/22分/R



パラジャーノフ監督はトビリシ生まれのアルメニア人。その傑出した才能のために投獄され、長く沈黙を強いられたが、ジョージアの映画人によって復活を果たす。親友ギオルギ・S監督に応えるように、ピロスマニへの思いを自らの汎コーカサス的ともいえる美学で描く。

●放浪の画家ニコ・ピロスマニ特集
国民的画家ピロスマニの生涯と芸術を、二人の天才監督が見事に描く。清澄な世界と目眩く映像美。対照的な2作をデジタルリマスター版で上映。ギオルギ・シェンゲラヤ監督追悼上映。

C ハバルダ ხაბარდა

ミヘイル・チアウレリ監督/1931/白黒/63分/サイレント/R



1930年代に入りスターリン政権によって形式主義批判が行われ、社会主義リアリズムが唱えられるなかでチアウレリ監督は数々の名作を遺した。トビリシで地域を再開発しようとする者と古い教会を守る者、新旧勢力の激しい軋轢、時代の潮目を描いた問題作。

失楽園 დაკარგული სამთხე

ダヴィト・ロンデリ監督/1937/白黒/82分



1937年はスターリンによる大粛清で多くの人が処刑、流刑された恐怖の年。しかしこの年に作られた本作は捧腹絶倒のコメディ。西ジョージアの農村を舞台に、没落貴族が一攫千金を夢見て、裕福な農家の花嫁を迎えようと策を練り、村を揺るがす大騒ぎに。

マグダナのロバ მადანას ლურჯა ★

レゾ・チヘイゼ+テンギズ・アブラゼ共同監督/1955/白黒/71分



旧邦題「青い目のロバ」。1956年カンヌ国際映画祭短編グランプリを獲得、ジョージア映画を世界に知らしめた。後の巨匠、アブラゼ監督とチヘイゼ監督の第1作。病気のロバを救った貧しい母子の姿を描き、硬直化した映画界に新風を吹き込んだ社会派作品。

ナイロンのクリスマスツリー ნელონის ნადვის ხე

レゾ・エサゼ監督/1985/白黒/75分



ソ連社会の激動を予見した作品といわれる。ベレストロイカ(建て直し)直前の作品。大晦日、新年を故郷で迎えるためにトビリシからバスで帰省する人々をとらえ、時代を生き彫りにする。様々な立場の老若男女を描いた群像劇の傑作。レゾ・エサゼ監督追悼上映。

D 結婚式 ქორწილი ★

ミヘイル・コバヒゼ監督/1964/白黒/20分/R



コバヒゼ監督作品には台詞はない。映像と音楽で表現された「純粋映画」とも評される。しかし難解ではなく、人間の行いをユーモアやペースを交えて作るシネポエムのような味わい。本作は青年がバスで出会った娘に一目惚れした後の顛末を軽やかに描く。

傘 ქოლვა ★

ミヘイル・コバヒゼ監督/1967/白黒/19分/R



「ジョージアにおける短篇映画のルネサンスの創始者」「世界の映画芸術を代表する監督の一人」と称賛されたコバヒゼ監督。列車の運行を監視する鉄道員の青年と娘の恋に、空を自由に浮かぶ傘が参入して二人との駆け引きが始まる。そこへ新たな男が現れて…。

音楽家たち მუსიკოსები ★

ミヘイル・コバヒゼ監督/1969/白黒/13分/R



白い背景に二人の音楽家の対立や交流がパントマイムで演じられる。音楽に造詣が深いコバヒゼ監督の才能が発揮された作品で、本人も出演。しかし当局から反体制的と批判され上映禁止、さらに映画製作も禁止される。彼は抗議をこめて製作現場から離れたゆく。

●よみがえった歴史的名作
1920年代にロシア・アヴアンギャルドの影響を受けた後、社会主義リアリズムが提唱され、スターリン時代の粛清の恐怖、世界大戦を経て雪解けの時代を迎える。そして80年代のベレストロイカ、その時々知られざる名作を紹介する。

E 祈り ვედრება

テンギズ・アブラゼ監督/1967/白黒/78分/ザジフィルムズ配給



北東部、コーカサスの厳しい山岳地帯で暮らすキリスト教徒とイスラム教徒、村同志の因縁の対立をとおして、人間の愚かさど過ち、それらを超える精神を白黒の荘厳な映像で描く。国民的作家V.ブジャヴェラの叙事詩が原作(原作・富山房インターナショナル刊)。

希望の樹 ნატერის ხე

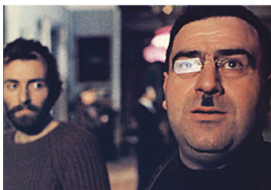
テンギズ・アブラゼ監督/1976/カラー/107分/ザジフィルムズ配給



20世紀初頭の東ジョージア、カヘティ地方の農村が舞台。時代の大きな変化を予感して村人たちは動揺を隠せないでいる。そのなかで美しい娘と青年の純愛が古くからの因習のために打ち砕かれてゆく…。ギオルギ・レオニゼの短編集が原作(未知谷刊)。

懺悔 მონანიება

テンギズ・アブラゼ監督/1984/カラー/153分/ザジフィルムズ配給



架空の地方都市で元市長の墓が何者かに暴かれ、犯人の女性が捕らえられる。彼女の証言で元市長の独裁によって多くの市民が粛清されたことが明らかにされる。タブーとされていたスターリンによる暗黒の時代を初めて描き、ソ連邦のベレストロイカの象徴となる。

F 私のお祖母さん ჩემი ბებია ★

コンスタンティネ・ミカベリゼ監督/1929/白黒/67分/サイレント



無声映画時代を代表する作品のひとつ。一人の役人が失職し、再就職しようとする顛末をとおして官僚社会を痛烈に批判する。当時のアヴアンギャルド運動の影響下、表現は斬新で自在、アニメーションも使用し、アナーキーな力強さに満ちて観る者を圧倒する。

スヴァネティの塩 ჯიმ შვანთე

ミヘイル・カラトジシュヴィリ監督/1930/白黒/44分/サイレント



コーカサスのスヴァネティ地方の高地。苛酷な自然環境のなかで生きる人々の姿が、四季をとおして映し出されたドキュメンタリー。岩山での重労働、争い、貧富の差、出産等が描かれ、R.ブニュエル監督の「糧なき土地」に先んじる名作と評価されている。

大いなる緑の谷 დიდი მწვანე ველი

メラブ・ココチャシュヴィリ監督/1967/白黒/85分



名匠ココチャシュヴィリ監督の代表作。広大な草原を舞台に、伝統を重んじて生きる牛飼いが、近代化や集団農場という中央政府の政策に歩み寄ることができず、家族とともに苦悩する姿を描く。俳優たちの圧倒的な演技、白黒の力強い映像が心に迫る不朽の名作。

少女デドゥナ დედუნა

ダヴィト・ジャンリゼ監督/1985/カラー/64分



母を亡くし、山間の村で父と暮らす少女の質朴な生活を静謐な映像のなかに映し出す。自然と人間の暮らしを繊細に覗いた詩的作品。現在、ドイツにプリントが1本しかない伝説的作品。今回の上映は監督が所有する劣化した素材から制作したDCPによる。

●テンギズ・アブラゼ監督「祈り三部作」
20年の歳月をかけて完成させた金字塔、「人の美しい本性が減ることはない」という信念のもと、迷妄や欲望がもたらす社会的暴力を、詩的、寓話的に描き、人間性を慮げるものを鋭く告発する。

●第1回ジョージア映画祭アンコール
2018年秋に開催されて好評を博した第1回映画祭の上映作品から、ソヴィエト時代に製作された4作品をまとめて再上映する。サイレント時代の伝説的2作品等、いずれもジョージア映画を語るうえで見逃せない名作揃い。

G ケトとコテ ქეთი და კოტე ★

ヴァアタンク・タブリアシュヴィリ+シャルヴァ・ゲデヴァニシュヴィリ共同監督/1948/白黒/90分



戦後の沈滞した社会に活気を生むために製作された絢爛豪華なミュージカル映画。19世紀半ばのトビリシを再現し、商人の娘ケトと公爵の甥コテが、仲人ハヌマの助けを得て困難を乗り越え、無事結ばれるまでを描く。今も人々に愛される国民的映画の名作。

喜びの家 სახლი სიხარულისა ★

メラブ・ココチャシュヴィリ監督/2008/カラー/61分



「喜びの家」とは首都トビリシを指す。本作は「ケトとコテ」の祝祭的世界を舞台化する様子を描きながら、知られざる歴史の真実に光を当て。また古き良きトビリシへの讃歌でもある。名優チヒクヴァゼが映画と街の魅力を、資料映像等と交えて語る。

「ケトとコテ」を求めて „ქეთი და კოტეს“ ძიებაში

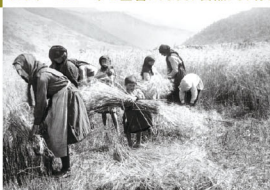
ダヴィト・グジャビゼ監督/2009/カラー/66分



「喜びの島」の製作過程を追ったドキュメンタリー。映画「ケトとコテ」のオリジナルは19世紀の戯曲「ハヌマ」の歴史を辿る。国民的ミュージカルの歴史を振り返りながら、スターリン時代の歴史的真相を、製作関係者の貴重な証言によって明らかにする。

H づバ ბუბა ★

ヌツァ・ゴゴベリゼ監督/1930/白黒/37分/サイレント・サウンド版/R



国家建設という名目はあるが、コーカサスのラチア地方の大自然のなかで、ジョージアの人々の厳しい労働と四季折々の暮らしが描かれる。村人たちのドラマティックなダンスや幼子の描写に斬新なモンタージュを用いるなど、彼女の傑出した才能を感じさせる。

ウジュムリ უჯუმრი

ヌツァ・ゴゴベリゼ監督/1934/白黒/58分/サイレント・サウンド版



ソ連邦初の女性監督による長編劇映画。西ジョージアの湿地帯で政府の啓蒙政策、水路建設の人々と土着の住民の軋轢を描く。完成後にヌツァは粛清され、作品もすべて押収されて2018年まで存在すら確認できなかった。ギヤ・カンチュリの音楽がついた新版。

インタビュー რამდენიმე ინტერვიუ პირად საკითხებზე

ラナ・ゴゴベリゼ監督/1978/カラー/95分



ラナの作品はいずれも高い知性と繊細な感性を感じさせ、テーマは多様だが時代と社会を鋭くとらえる。本作はジョージア初のフェミニズム映画といわれ、女性新聞記者の家庭における葛藤、そして彼女の女性たちへの取材の日々をとおして現代を浮き彫りにする。

幸福 ბედნიერება

サロメ・アレクシ監督/2009/カラー/32分



ラナの娘も現代ジョージア人が抱える問題を女性の立場で描く。独立後の厳しい社会状況下、イタリヤへ不法入国で渡って出稼ぎする妻が、突然亡くなった夫の葬儀に帰らず、参列者が訪れるなかで携帯電話を使って遺体に思いを語る…。悲しくも可笑しい傑作。

●国民的映画「ケトとコテ」を究める
スターリンの指示で作られた娯楽大作「ケトとコテ」。完成後上映禁止となるが、後にジョージアを代表する映画。同作を巡る2本のドキュメンタリーを通して映画の欲びを語り、歴史の闇に光を当てる。

●ゴゴベリゼ家・女性監督の系譜
ヌツァ・ゴゴベリゼはジョージア最初の女性監督。1937年の大粛清で夫は処刑され、彼女は長く流刑された。その娘ラナは戦後ジョージア映画を代表する監督。ラナの娘サロメを加え、一家は三代にわたり女性と社会を捉え続ける。